



卒業生の安城愛 第2部

さる2月21日、22日、安城商工会議所青年部は日本商工会議所青年部全国大会として、静岡県沼津の地で行われました「ふじのくに静岡ぬまづ大会」に総勢37名で参加してまいりました。記念事業では全国から集まりました850名もの卒業生が、惜しまれながらも盛大に送られました。卒業を「祝われるほどうれしいやら悲しいやらで」と杉山昌宏先輩がごぼした言葉に卒業生の本音を見た気がします。

杉山先輩は平成7年度に入会され、25年間青年部で活動されました。つまり青年部発足と同時に入会されたチャーターメンバーです。杉山先輩を最後にチャーターメンバーは皆さん卒業を迎えられました。長きにわたる青年部人生の中でひときわ思い入れのある事業は七夕まつりだそうです。運営する場所が変わるそのたびにメンバーと一緒にゼロからまつりを作っていました思い出をお話いただきました。発足当時のメンバーの人数と比べるとおよそ2倍の人数に拡大しましたが、「人数は多ければ多いほうがいい」、「青年部のメンバーはみんな友達のようなものだから。そんな関係、普通では築けない」と教えていただきました。青年部で得た縁を、各事業を進めながら絆に成長させ、それが楽しさ喜びに変わる。笑顔の絶えない杉山先輩のお姿は、そのことを自らの行動により我々後輩に教えていただいているように思えます。

平成28年度29年度には愛知県商工会議所青年部連合会に出向され、その人徳ゆえに安城にとどまらず愛知県内にファンを増やしてこられました。あの三本締めが見れなくなるのかと思うと涙でいっぱいです。

川澄琴枝先輩は平成24年度に入会され8年間青年部で精力的に活動されました。広報委員長を2度務められ平成27年度には愛知県商工会議所青年部連合会にも出向され、今年度は安城商工会議所青年部副会長を務めておられます。その他の年度にも七夕や元気フェスタの特別委員会に一度ずつ所属され、まさに安城のために身を粉にして活動していただきました。それでも「社業が多く忙ということもあり青年部活動以外では自ら進んで交流を図ってこなかったことが心残り」と惜しんでおられました。

しかしやはり、一番の思い出は「広報委員長としてPitcfFM出演したり、広報誌の原稿作りや例会事業から、メンバーと力を合わせて一つのものを創り上げ成功へ導いていくことによって得られる感動！」とお話をいただきました。精力的に活動したからこそ得られる喜び、感動を熱く語っていました。先日の全国大会でも、感動があふれ出しているお姿を拝見し、その思いの強さをあらためて垣間見た気がします。

今年度青年部ネットはやはり川澄先輩のことばで締めさせていただきます。

「入会当初から青年部メンバーの皆様に温かく迎えていただき、今日卒業を迎えることができますのも、ひとえに多くの仲間に支えられ有意義な青年部活動を過ごさせていただいたおかげと思っています。長い間お世話になりました。最高の仲間に大変感謝しています。青年部メンバーの皆様、本当にありがとうございました」

4名の卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。



令和元年度 卒業予定者
杉山 昌宏



令和元年度 卒業予定者
川澄 琴枝



朝雉や
空も心も
ケンケン(47才・山崎町)

元気ノ助のメールで
接句

FAX
99-12776
E-mail
etsuwa@katcha.jp



—臨時総会・3月例会「卒業式・卒業を祝う会」—

臨時総会・3月例会を下記のとおり開催します。

- 日 時 令和2年3月19日(木) 18:00~21:00
- 場 所 BirthHall (バースホール)
- 内 容 臨時総会は、令和2年度事業計画書並びに収支予算を審議いたします。令和の初年度の集大成として、3月例会では卒業式を行い、4名の卒業予定者の功績に感謝して最後の門出を盛大にお祝いし、送り出します。